

驚愕の 数値 热意のある社員 5%

る重要な指標で、企業の経営にプラスの影響をもたらすため投資家たちからの注目度も高い。(図-1参照) 実際、主要国の中でもインドは33%と目立った上昇が見られた。ちなみに、

を高め離職率を低下させる環境を整えること
が重要なのだ。

終身雇用が定着した日本では、仕事に対する姿勢が受け身的で、経営者が決めたことに従い、一般社員が考えて

調査結果での日本の割合はわずか5%。145ヶ国の中ではイタリアと並び最も低い結果となつた。一方、世界平均は23%で、2.ポイント上昇して最高水準に達した。従業員エンゲージメントは、働きが

従業員工シゲ1ジメン
トをどこ存知だろうか。
米ギヤラツ。フ社が行つ
調査の一環で、12の質
問から従業員が会社や
提供される商品・サ1
ビスに対し熱意や愛
着を持つ度合いを問る
ものだ。ミツショーンビ
ジヨン・バリュ1の浸透
や自己承認、関係性な

分類	調査結果
多国籍企業	従業員エンゲージメントが平均以上の企業の利益率は、同業種と比べて 5 ポイント高い。従業員エンゲージメントが平均以下の企業では利益率が 13 ポイント低い。
銀行	従業員エンゲージメントが最高の支店は、最低の支店よりも顧客満足度が 19 ポイント高い。
小売業	従業員エンゲージメントの高い店舗では、低い店舗に比べて従業員の離職率が 23 ポイント低い。



実は弊社も
組織づくり・社員育成に
奮闘しました！

新卒採用
初年度 7割退職・
翌年度 4割まで改善
今年度 退職者ゼロ!

サクセスストーリーが気になる方は
お気軽にお問合せください♪



2024年 輸送力不足対策

遂に國会で
法制化

るしか無かつた。政府
発表の荷主と物流事業
者へ向けたアンケート
によると、物流危機に
対して問題意識を持つ
ている割合が84・5%
いるのに對し、実際に
対策を実施していると

政府は迫る運送業界の2024年問題に対し、何も対策を講じない場合14%、2030年には34%の輸送力不足に直面する可能性があると発表した。これまで業界が抱える課題に関する施設に対する補助を行つたが、

のかは定かではないが、一つ言えるのは物流事業者だけでなく、荷主や消費者も一体となり今後を考えることが求めらるしていくだろう。PMGでは物流に特化したスタッフも在中！

答えたのは 54・3% に
留まつた。

解決に向けた動きが取
りづらい現状に、遂に
政府は「物流革新に向
けた政策パッケージ」
を打ち出した。その中
には、GX化、DX化
標準化などの内容や、
そもそもの商慣行の見
直しといったことも含

参考文献

- ・日本経済新聞2023.6.14「日本の【熱意ある社員】5% 世界は最高、広がる差」
<https://www.nikkei.com/article/DGYZQOUF131HN0T10C23A6000000/>
- ・PRESIDENT Online2017.12.18「働く人の幸福度をはかるたった12の質問」
<https://president.jp/articles/-/23978?page=4>
- ・WTW“Why is employee engagement important?”
<https://www.wtwwco.com/en-US/Insights/2021/05/why-is-employee-engagement-important>（2022年7月14日閲覧、訳は引用者による）
- ・我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議より2023.6.2「物流革新に向けた政策パッケージ」

- 具体的な施策 物流の効率化

 - 物流GX・DX・標準化等により、新技術も活用しつつハード・ソフト両面で物流を効率化する。
 - ①即効性のある設備投資の促進
 - ②「物流GX」の推進
 - ③「物流DX」の推進
 - ④「物流標準化」の推進
 - ⑤道路・港湾等の物流拠点に係る機能強化・土地利用最適化や物流ネットワークの形成支援
 - ⑥高速道路のトラック速度規制（80km/h）の引き上げ
 - ⑦労働生産性向上に向けた利用しやすい高速道路料金の実現
 - ⑧特殊車両通行制度に関する見直し・利便性向上
 - ⑨ダブル連結トラックの導入促進
 - ⑩貨物集配中の車両に係る駐車規制の見直し
 - ⑪地域物流等における共同輸配送の促進
 - ⑫軽トラック事業の適正運営や輸送の安全確保に向けた荷主・元請事業者等を通じた取組強化
 - ⑬女性や若者等の多様な人材の活用・育成